

明治大学文学部主催ワークショップ

交差する人文学

〈日本におけるキリスト教〉
への
様々なアプローチ

2025年

5月12日（月）

17:00～19:00

明治大学和泉キャンパス

図書館ホール

予約不要・参加自由

主催：明治大学文学部

企画：明治大学文学部哲学専攻

Schedule :

17:00 -17:05 趣旨説明

17:05 -17:25 郭南燕（日本文学専攻）

「パリ～上海～長崎：キリスト教の聖像と聖具の伝播」

17:25 -17:45 清水有子（日本史学専攻）

「徳川家康のキリシタン禁令」

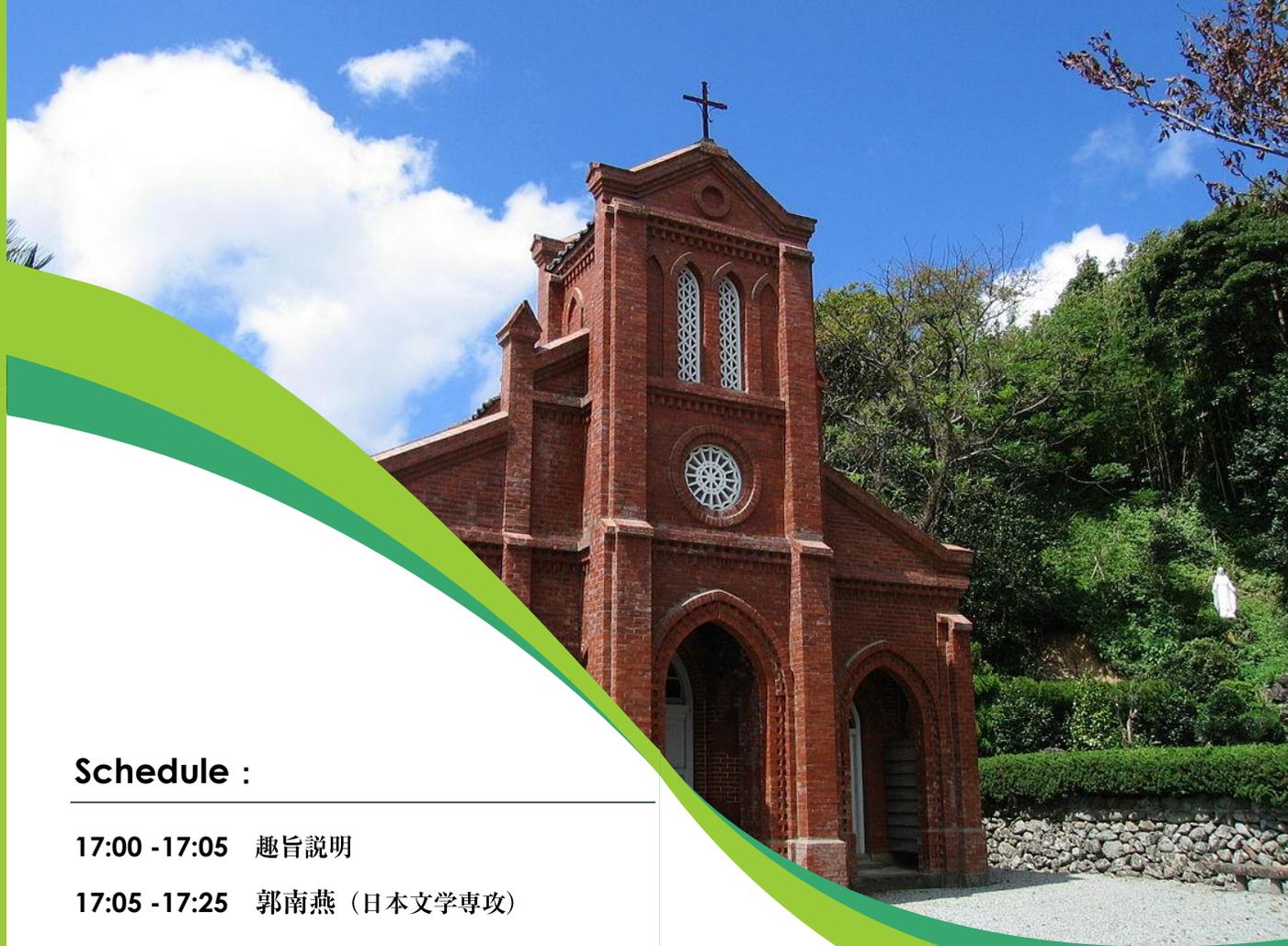
17:45 -18:05 志野好伸（哲学専攻）

「不干斎ハビアンの朱子学理解」

18:05 -18:25 山田亨（教養セクション/人類学）

「『世界遺産・長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産』に見るキリスト教と日本の現在」

18:25 -19:00 総合討議



文学部は3学科に分かれ、様々な専門分野の教員がいます。学科を異にする4名の教員が、「日本におけるキリスト教」という一つの共通のテーマに対し、自身の関心に従って発表します。専門分野によってどのようなアプローチが可能なのか、それぞれの研究がどのように交差し合うのか、人文学の広がりを経験してみてください。